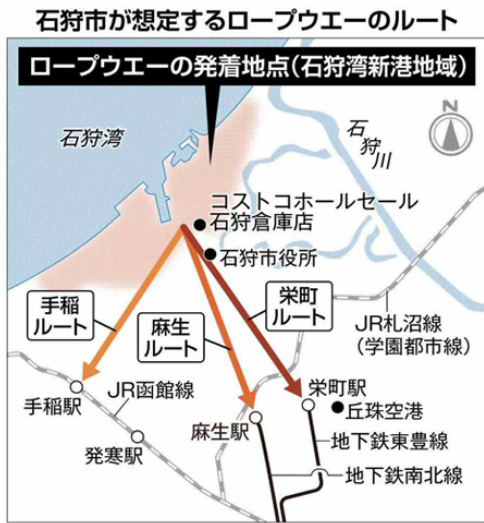




[A] 2023/11/28 (火) 北海道新聞 朝刊 全道版 5ページ [B] 2023/12/1(金) 北海道新聞 朝刊 全道版 16ページ(記事は再編集しています)

A

石狩市 3路線候補に 札幌へのロープウェイ構想



石狩市は、新たな公共交通として導入可能か調査している都市型ロープウェイ構想の概要案をまとめた。石狩湾新港地域を發着し、札幌市内の地下鉄やJRの駅周辺とを結ぶ3路線を候補とした。ロープウェイの技術を持つ企業などから意見、提案を募る「サウンディング調査」の応募時の参考にしてもらう。

①手稲②麻生③丘珠周辺

石狩市内の公共交通は現在、路線バスとタクシーのみ。市は20年ほど前まで、札幌と結ぶモノレールや鉄道の導入を検討したが、費用面で断念していた。

概要案の3路線は石狩市の中心部や住宅地を経由し、①JR手稲駅(札幌市手稲区)②札幌市営地下鉄南北線麻生駅(同市北区)③同東豊線栄町駅(同市東区)と丘珠空港(同)とそれぞれ結ぶことを想定する。距離はいずれも12~15キロ。

石狩市は国土交通省の補助金を活用し、ロープウェイの導入調査を7月から実施している。専用道路を使うバス高速輸送システム(BRT)や路面電車と比較検討した結果、「道路の積雪や凍結を気にしないロープウェイの方が石狩にはなじむ」(企業連携推進課)と判断した。

サウンディング調査の意見・提案書を12月7日まで募集中で、整備方法や費用など事業の実現性を探り、調査結果を来年2月に公表する。(和賀豊)

途中1~2キロに設ける駅周辺の活用も目指す。概要案ではこのほかロープウェイの整備や運営などの事業手法4パターンを提示した。事業は2025~26年度に整備・運営事業者の公募や選定、27~32年度に設計と施工、32年度に運行を開始するとし、風力発電など地域で生まれる再生可能エネルギーの活用も盛り込んだ。

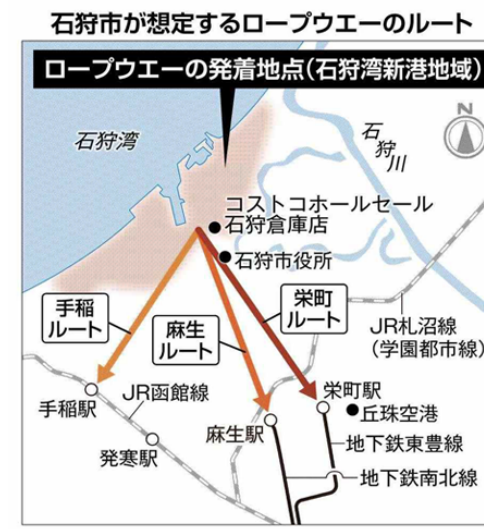
石狩市は国土交通省の補助金を活用し、ロープウェイの導入調査を7月から実施している。専用道路を使うバス高速輸送システム(BRT)や路面電車と比較検討した結果、「道路の積雪や凍結を気にしないロープウェイの方が石狩にはなじむ」(企業連携推進課)と判断した。

サウンディング調査の意見・提案書を12月7日まで募集中で、整備方法や費用など事業の実現性を探り、調査結果を来年2月に公表する。(和賀豊)

B

ロープウェイ 市民に期待感

新港発着3路線 市が構想



市は現時点で3路線を候補としている。石狩湾新港地域を發着し、①JR手稲駅(札幌市手稲区)②札幌市営地下鉄南北線麻生駅(同市北区)③同東豊線栄町駅(同市東区)と丘珠空港(同)とそれぞれ結ぶことを想定する。距離はいずれも12~15キロ。

石狩商工会議所の百井宏己専務理事は「マチの発展が経済を支える」と構想に理解を示す。いずれの路線も市内の中心市街地や住宅地を経由する想定。1~2キロに設ける駅周辺を整備できれば、商店街の活性化にもつながるとみる。条件が整うのであれば、挑戦してほしい」と話した。

3路線は市内の観光スポットである本町地区や厚田区、浜益区には経由しない想定だ。ただ、国内では都市型ロープウェイが横浜市の1路線しかなく、石狩観光協会の南誠専務理事は「ロープウェイそのものが観光資源になる可能性がある」と期待する。

かつて市が導入を検討した鉄道やモノレールは、20年以上前の試算で500億

利便性高まり経済活性化 / 積雪寒冷地の例なし

「800億円という費用面が大きなネックだった。市によると、ロープウェイは1キロあたり15億円と見積もる企業もあり、鉄道やモノレールの半額以下で建設できる可能性があるという。」

南米のボリビアでは公共交通としてロープウェイが使われている。複数の路線が接続し合い、各路線は1時間あたり3千人程度の輸送能力がある。石狩翔陽高2年でバス通学している沢田拓海さん(16)は札幌市手稲区に「バスは乗り継ぎがうまくいかないこともある。ロープウェイでそれが解消されれば」と話す。

ただ、石狩市によると、積雪寒冷地でロープウェイを公共交通に使っている例はない。加えて市内は冬場、強風に見舞われることも多い。横浜市内で国内唯一の都市型ロープウェイを運営する泉陽興業(大阪)は、2本のロープウェイにつすタイプなら風にも強いと説明するが、石狩でも問題ないかは未知数だ。

市は11月22日からロープウェイの技術を持つ企業などから意見、提案を募っている。市企業連携推進課は「前例のないことなので、最適なルートや整備費用などをより詳しく調べ、実現性を探りたい」としている。(和賀豊)



年 組 名前

道新で ワークシート

【1】 記事Aと記事Bの内容について、石狩市に住んでいる（Iさん）と札幌市に住んでいる（Sさん）が対話をしています。会話文の中にある空欄①～⑤へ、記事の内容に即して適切な語句を下記の語群から選び、対話を成立させなさい。

Iさん： 今回のロープウエー構想の記事だけれど、AとBにはどんな違いがあるかな？

Sさん： Bの記事は、この構想に対する石狩市民の《①》が広がっていることがまとめられているね。

Iさん： うん。それに対してAの記事は、構想の内容が中心だね。

Sさん： ちなみにIさんは、JR函館線を利用していたよね。この構想についてどう思う？

Iさん： 私が利用するのは、おそらく《②》ルートになると思う。道路状況に関係しないロープウエーは、冬の《③》を気にしなくてすむので気が楽だよ。でも、石狩市は冬場に《④》が強いことが心配だな。Sさんはどう思う？

Sさん： たしかに、Bの記事を見ると、a良い面もあれば未知数な部分もあるとわかるね。積雪寒冷地でのロープウエー利用は過去に《⑤》がないと記事にあるので、全く新しい取り組みだから、楽しみだよ！

焦燥感	手稲	麻生	雨	風	無力感	路面凍結
経済活性化	期待感	丘珠周辺	運賃	前例		

【2】 IさんとSさんの会話中にある二重傍線部aについて、Iさんが述べているロープウエー構想に対する良い面以外で、Bの記事から読み取れる良い面を答えなさい。